



おごせ

あなたと議会をむすぶ
議会だより



八幡神社の獅子舞（津久根）

主な内容

- 8月臨時議会…………… 2 P
- 平成23年度決算認定…………… 4 P
- 補正予算・賛否表…………… 7 P
- 一般質問 7名が登壇…………… 8 P

第143号

平成24年12月1日

発行・越生町議会
編集・広報編集委員会

☎ 049-292-3121 内線204

〒350-0494

埼玉県入間郡越生町大字越生900番地2

議会だよりは再生紙を使用しています。

8月 臨時会

第1回臨時会が8月2日に招集され、会期1日間の日程で行われました。
上程された議案は補正予算1件で慎重審議の結果、可決されました。
また、正副議長の選挙並びに議会運営委員会委員の選出が行われました。

議長及び副議長の 選挙が行われました



越生町議会副議長
浅野 訓正



越生町議会議長
副議長 新井 康之

就任あいさつ

この度、議員の皆様から議長に推挙されました。身に余る光栄であります。浅学非才ですが、皆様のご協力をいただき、公正中立、円滑な議会運営に努めてまいります。

明治22年の町村制施行と共に越生は「町」として発足しました。誠に歴史と伝統のある町であり議会です。

一方、地方分権改革の推進により地方公共団体の自由度が拡大され、それに伴い議会の責任も一層重くなっております。そして議会の活性化を図ることも重要であると認識しております。越生町の歴史を考慮しつつ、時代の要求するところを正しく把握して、自戒と研鑽を深め、町民皆様の議会に対する期待に少しでも応えられるよう力を尽くす決意であります。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

議会運営委員会委員

委員長	神邊 光治
副委員長	田島 孝文
委員	長島祥二郎
〃	木村 好美
〃	吉澤 哲夫
〃	木村 正美

議会運営委員会の構成に変更がありました
議会運営委員会に

長島祥二郎議員

が就任します。



越生駅のバリアフリー

平成25年度より着手



越生駅バリアフリー整備事業補正予算が賛成多数で可決されました。

総事業費5億4060万円を国、鉄道事業者（東武、JR）、町で3分の1ずつ負担。町の負担額1億8020万円のうち、平成25年度分の1億7270万円を**債務負担行為**として追加補正するものです。



※**債務負担行為**とは一つの事業が単年度で終了せず、以後年度においても支出しなければならぬ場合、その期間と額を確定するもの。財政的なリスクを先送りすることにもなり、乱用には注意が必要です。

反対討論

越生駅東口開設遠のく

策はなかった

木村 正美

私は身体の不自由な方や高齢者のための公共施設のバリアフリー化に反対するつもりはありません。しかし、今回の越生駅バリアフリー化計画はエレベーター二基と新たな跨線橋を設けるものです。が、地域住民の願いである橋上駅化和東口の開設には全く考慮がなされていません。総工費の三分の一の約一億七千万円を町が負担する計画です。このまま計画が進めば、地域住民の願いは遠い幻になります。将来の町の発展のために残す財産として慎重に検討する必要があります。町長は、徹底した情報公開と計画段階からの住民参加と言われますが、経過説明もなく示されたのはいきなりの決定案であり、一週間という短い意見募集でありました。もつと議論を尽くすべきと考え反対します。

8月臨時会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、(議)は議長、(除)は除斥

議案番号	件名	議員氏名										審議結果	
		水澤努	木村正美	宮島サイ子	宮崎さよ子	吉澤哲夫	木村好美	田島孝文	長島祥二郎	神邊光治	浅野訓正		新井康之
29	平成24年度越生町一般会計補正予算(第1号)	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	(議)	承認

9月定例会

平成24年第3回定例会は、9月5日から21日までの、17日間の会期で開催されました。町長から提出された案件は、平成23年度決算認定7件、条例改正3件、同意2件の議案が提出されました。5日は、総務建設常任委員会副委員長の選任を行い、その後決算認定の提案説明・質疑を行い所管する常任委員会へ付託されました。6日に、補正予算・条例改正・同意案件の慎重審議を行い可決及び同意されました。一般質問は7日に5人、10日に2人の合わせて7人の議員が、町政に関する問題を質しました。決算認定は13日に文教福祉常任委員会・14日に総務建設常任委員会で審査が行われ、21日に委員長報告を行い、委員長報告に対する質疑、討論、採決を行い認定され、閉会となりました。

一般会計決算昨年比べて増額 水道事業会計「赤字決算」

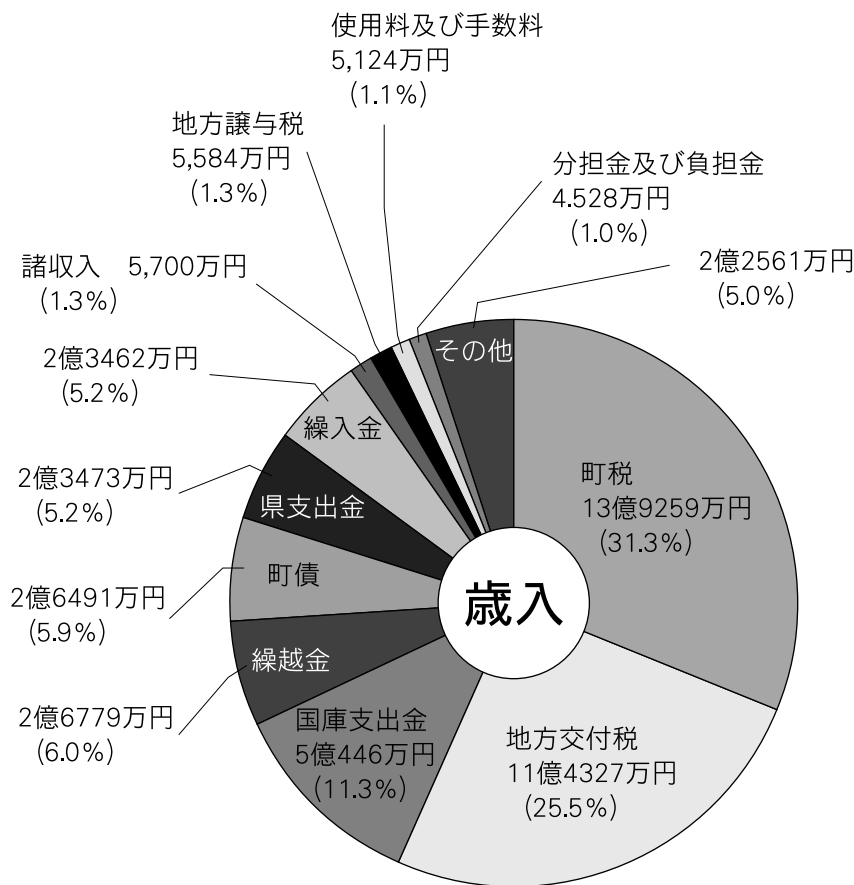
平成23年度一般会計歳入決算総額44億7734万円で前年度比2億1912万円、5・1%増額、歳出決算総額は、42億1860万円で、前年度比2億2817万円、5・7%増額の決算認定を賛成多数で認定されました。

歳入

前年度に比べて2億2千万円増額は、主に役場庁舎耐震工事に対する公共施設整備基金からの繰入金2億4千万円による。平成20年度以降減少を続けた町税収入は前年度から千五百万円の微増。地方交付税は約7千万円の増加。

歳出

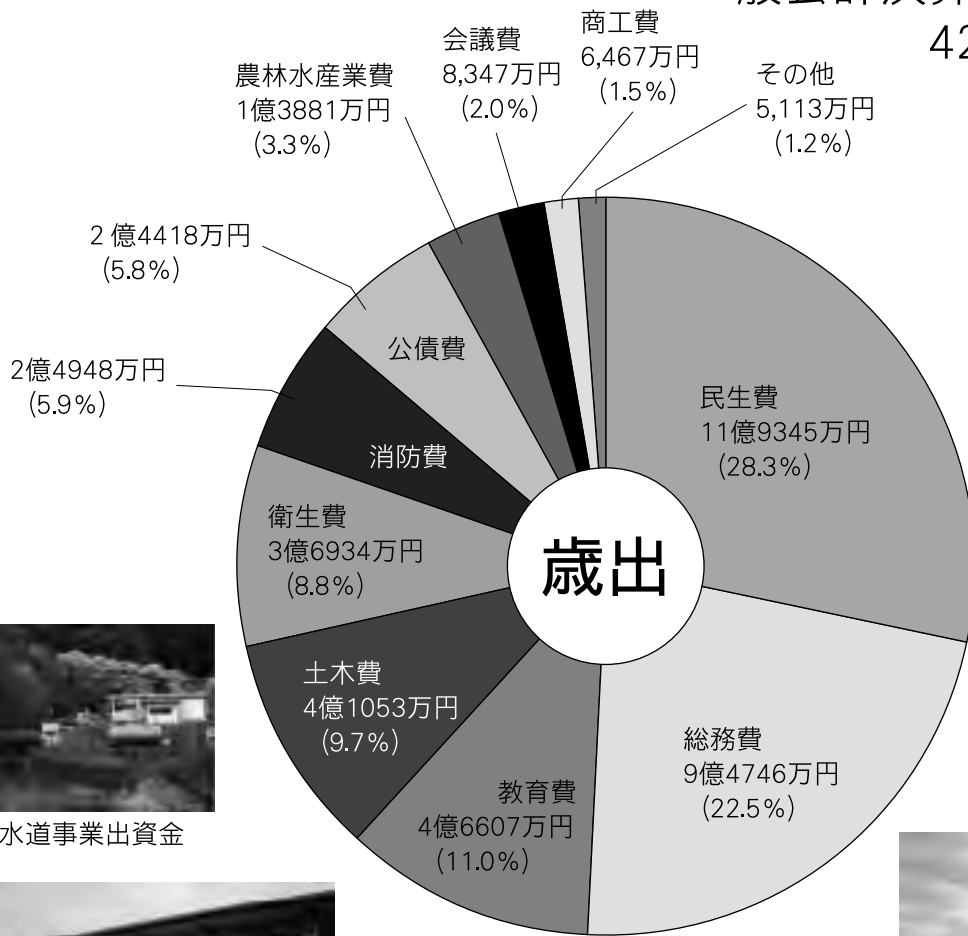
前年度に比べて2億3千万円の増額は、主に役場庁舎耐震工事実施により総務費が41・5%増の2億8千万円となったことによる。民生費は子ども手当増加などにより8・5%増の9千万円。衛生費は水道事業会計への出資金の増加などにより9・1%増の3億7千万円となった。



一般会計決算歳入総額 44億7734万円

一般会計決算歳出総額

42億1860万円



子ども手当増加



水道事業出資金



武道場建設工事事務繰越分



役所庁舎耐震・補強工事

歳出

反対討論

大企業の利益を中小企業と
国民生活に還元し子育て強化を

神邊 光治

東日本大震災から1年半、多くの犠牲者の方々のご冥福をお祈りします。国は一日も早い復旧・復興に全力を挙げ、私たちも引き続き支援が重要です。長期不況は、私の質問で、この10年間で町民の所得が35万円余も減り、15〜20年間で60〜70万円の所得減が実態です。

これは、自民・公明の小泉内閣の新自由主義Ⅱ構造改革政治の弱肉強食で格差拡大、自己責任論で労働者を犠牲にして、大企業は莫大な利益と億単位の報酬を得る社長も多く出ました。日本の中小企業と国民生活を守るため大企業の利益を還元させるべきです。本決算は保育料で3人目が無料に。庁舎の耐震補強工事、越中の武道場の建設、太陽光発電の設置。繰越金の2億5千万円超は、町民の切実な要望実現、子育て支援の強化に使うべきです。

賛成討論

原発不安な中
堅実な財政運営

木村 正美

東日本大震災の直後にスタートした平成23年度一般会計は、厳しさを増した経済情勢下で、さらに原発事故の恐怖を感じながらの一年でした。そんな中、歳入歳出ともこの10年では最も高額決算となり、災害時の拠点施設となる役場本庁舎の耐震補強工事が完了。福祉関係では病児・病後児緊急サポート事業の開始。従来からの子育て支援事業も継続され、高齢者に緊急時救急医療情報キットが配られるなど高齢者支援策も充実。保険衛生では子宮頸がん予防ワクチンなどの全額助成。教育では越生中学校武道場が完成し教育環境も充実。放射能情報も機敏な対応と努力が見られた。厳しい財政状況下で、限られた財源を有効かつ効果的に配分がされ、努力の跡が伺える決算内容で、高く評価でき賛成します。

平成23年度会計別決算

会計名		歳入	歳出	差引額
一般会計		4,477,337,471	4,218,600,821	258,736,650
特別会計	国民健康保険	1,623,367,672	1,494,856,060	128,511,612
	介護保険	809,206,059	780,493,389	28,712,670
	後期高齢者医療	111,161,024	108,775,683	2,385,341
	農業集落排水事業	40,588,312	38,179,091	2,409,220
	公平委員会	609,023	189,124	419,899
計		2,584,932,090	2,241,493,348	162,438,742
水道事業会計	収益的収支	283,511,494	285,253,385	-1,741,891
	資本的収支	54,820,756	167,397,747	-112,576,991
合計		7,400,601,811	7,093,745,301	306,856,510

※水道事業会計：資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額112,576,991円は過年度分損益勘定留保資金で補填した。

水道事業会計赤字決算！ 年51万m³漏水

水道事業会計は経常損失が772万円となり、累積欠損額は3,432万円に増大。資本的収支の不足額1億1,258万円は、減価償却費(=留保資金)よりも2,955万円超過し大幅に資金を取り崩した。また有収率は71.9%と4.7%低下し漏水が一日1,408トン、一年で51万トンにのぼり全水道水の3割に達している。こうした現状の打開が緊急の課題である。



浄水場膜濾過施設主系膜

水道事業会計決算認証に対する討論

反対します。

赤字決算 未曾有の漏水！
企業経営の舵取りの責任は！！

木村 正美

平成23年度水道事業会計決算について反対する理由は、単に赤字だからではなく、根本的な行政の姿勢を正そうと苦言を呈するものです。

経年劣化で漏水しては修繕し、また、別の場所でも漏水し、その繰り返しで有効率・有収率はさらに悪化し、逆ザヤも拡大しています。これは昨日今日に始まることではありません。高度成長期にインフラ整備された社会資本が転換期にきていることは周知の知事です。それを基金の取り崩しで先延ばししています。分かっているのに、行政の怠慢であり、不作為です。正確な情報を公開して、事実を説明し、値上げが必要なら理解が得られるよう健全化の努力をすべきです。自ら泥をかぶる覚悟を持って行政の舵取りをしていただきたく、反対するものです。

賛成します。

安心安全な水道水の
安定供給がされた

宮崎 さよ子

越生町の水道事業は、ほぼ全町民が利用する町民生活の源泉であります。収益の根幹である給水収益が減額となる厳しい状況であります。

しかし、こうした状況下において、災害時に対応するためPCタンクの耐震診断、そして、施設の更新に伴う減価償却費の増加がありました。経費の削減に努力しましたが、純損失となりました。給水収益の増収は現状ではなかなか困難で、水道料金改定に結びつくものと思われまます。

水道事業を今後どのように運営していくかを非常に重要な課題として考えなければならぬ時期だと思えます。安全な水の安定供給を実現するための経営基盤強化を積極的に推進し、解決できることを期待しております。

舗装の傷みの激しい 堂山地区内町道の舗装改修

平成24年度一般会計補正予算
(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、4221万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、39億4221万3千円とするもの。
補正の主なものは次のとおりです。(△は減額)

歳入

地方特例交付金

346万8千円

地方交付税

6441万3千円

県支出金

848万1千円

繰入

△2807万円

町債

△607万9千円

歳出

衛生費

773万1千円

土木費

3348万6千円

衛生費では、ポリオの予防接種費用、合併処理浄化槽設置促進事業の調査委託料など。土木費では、生活関連道路整備、町道舗装改修整備事業など。

賛成全員 可決



堂山地区内
町道2-13号線

総務建設常任委員会の構成に変更がありました。総務建設常任委員会副委員長に

木村正美議員が

就任します。



教育委員の任命

内藤久美子氏(46歳)新任

越生町越生

(神邊議員退席)

賛成全員 同意

利根川常彦氏(56歳)再任

越生町成瀬

(神邊議員退席)

賛成多数 同意

9月定例会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、欠は欠席 退は退席 議は議長

議案番号	件名	議員氏名											審議結果
		水澤努	木村正美	宮島サイ子	宮崎さよ子	吉澤哲夫	木村好美	田島孝文	長島祥二郎	神邊光治	浅野訓正	新井康之	
30	越生町行政手続条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	可決
31	越生町防災会議条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	欠	○	○	○	○	○	議	可決
32	越生町災害対策本部条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	可決
33	平成24年度越生町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	可決
34	平成24年度越生町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	可決
認定1	平成23年度越生町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	議	認定
認定2	平成23年度越生町、毛呂山町外4組合公平委員会特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	認定
認定3	平成23年度越生町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	認定
認定4	平成23年度越生町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	議	認定
認定5	平成23年度越生町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	議	認定
認定6	平成23年度越生町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	議	認定
認定7	平成23年度越生町水道事業会計決算認定	○	●	○	○	欠	○	○	○	●	○	議	認定
同意3	越生町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	欠	○	○	○	退	○	議	同意
同意4	越生町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	欠	●	○	○	退	○	議	同意



町政を問う!!

平成24年9月議会では7名の議員が登壇しました。全質問項目は下記のとおりです。

記載した本文は質問した議員本人が執筆していますが、文字数が限られているため、要約して掲載しています。

全文は図書館等に置いてある会議録か、インターネット（町ホームページ内「会議録検索システム」）で閲覧することができます。

① 水澤 努

- 1 町税収入はH20をピークに減り続けているが、これに関して聞きたい
- 2 水道事業の資金枯渇に関して質問する
- 3 県の発表している「まちづくり埼玉プラン」との関連で聞きたい

② 木村 正美

- 1 川の再生事業完了後の町の対応は
- 2 越生町特産物加工研究所のあり方について
- 3 ふるさと納税をもっと積極的にPRを

③ 木村 好美

- 1 飯能・寄居バイパスの安全について
- 2 「3つのあ」について
- 3 庁舎内職員の意識統一について(町長含む)

④ 浅野 訓正

- 1 区運営補助金について
- 2 中学校の体育祭に高齢者の招待を

⑤ 宮崎さよ子

- 1 お昼のサイレンについて
- 2 体育館施設利用について
- 3 各種証明書等の交付申請書について

⑥ 宮島サイ子

- 1 成年後見人制度について
- 2 認知症支援について
- 3 「買い物弱者」支援について

⑦ 神邊 光治

- 1 子育て世代の所得減と増税にあたたかい支援を
- 2 第2 おごせ福祉作業所建設に町の補助金の支出で応援を

一口メモ

一般質問の人数制限はありません。一問一答方式で一人当たりの質問時間は60分以内です。質問を行う議員は、事前に議長あて「こんな質問をします」という通告を行います。

町の税収減と赤字続く 水道事業をどうするのか

水澤 努



問 町税収入は平成20年度以降減り続け、3年間で1億3千万円以上の大幅減収を記録。①町税収入に対する中・長期予測は。②人口減少が続くのでこの傾向は続く。これまでとは違った時代に入ったとの認識はあるか。③時代の変化に応じた新たな戦略

はあるのか。

答 ①平成28年度までに9億185万円、6・9%の減少が見込まれる。②財源の確保はかなり厳しいと認識。

③町有財産の有効活用、売却可能資産の処分、既存事業の廃止などが必要。

問

水道事業が大幅の赤字を続け資金枯渇が危ぶまれる。①総括原価方式のため赤字補填は水道料金に反映されるはずだが、水道料金の値上げ幅はどの位の見通しか。②6月議会で副町長は起債に言及したが、23年度で起債を行ったばかりだ。新たな起債の規模と返済計画は。③有収率低下↓工事↓資金不足↓有収率低下の悪循環に陥っているがいかにか打開するのか。

答

①現在の経営状況だけでなく将来的な水道事業

のあり方を念頭におき検討。

②償還に無理のないように検討。資金があれば打開可能だが現状では部分補修のみ。

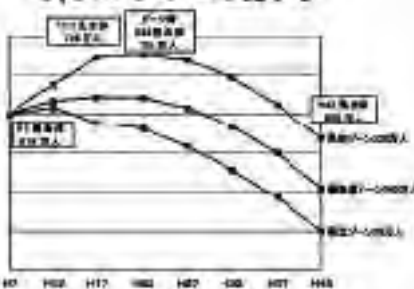
問

平成20年に埼玉県は「まちづくり埼玉プラン」を発表した。①町には同「プラン」との整合性のあるまちづくり戦略はあるのか。②ここでベースとなっているコンパクトシティという考え方についての町の認識は。

答

①今後都市計画マスタープランの見直しがあるが、大幅な見直しにはな

県の人口動向



りそうもない。②その考えにそったまちづくりは難しいと思っている。

川の再生を新たな活力源に 特産物加工研究所の活性を

木村 正美



問 県事業の越辺川の再生事業が完成し、今後の町の対応は。

①県事業に町はどう関わったのか。②流域地域の草刈り等の役割分担はどうなったか。③トイレの整備や案内看板の設置は「県」か「町」か。④多くの

人たちが利用し、楽しめるような企画を検討しているか。

答 ①「川の国埼玉」構想の水辺再生事業に梅林周

辺と憩いの広場上下流域区域の2カ所を応募し、後者が採択アイデア等に積極的に関わったかは、当時の担当課長の考え。②七月に管理区分の説明

会を開き、八月の末に概ね了解を得られ、協定に向けた二度目の会議を開催した。機械燃料実費等について要求はないが、今後県と町で検討。③新たに「川のまるごと再生事業」に当町と毛呂山町が応募しており、結果を待つて判断

灯籠流しでも芋煮会でも地域づくりとして提案に期待。

問 地場産業の振興と特産物利用の新たな商品開発を目的とする(株)越生町特産物加工研究所は。

①ゆず之介で増収増益か。②

施設の更新及び経営刷新計画はあるか。利益が上がるような経営舵取りをしているか。④今後の展望は。

答 ①ゆず之介のヒットが必ずしも増収増益に結びついていないが、昨期は僅かながら利益を出し、株主配当を増強するが、建物含め施設は老朽化が著しい。③長期経営方針に則り営業計画を立て、営業成績向上に努力している。④6次産業化を実現させ、生産と収入の安定、



元氣百梅 ゆず之介

販路と雇用の拡大を図る。

挨拶は基本。町長自ら率先して挨拶を！心ひとつに町政を

木村 好美



問 学校では、3つの⑥が浸透し、最終的に自分に責任を持つ等へつなげる奥深い内容である。これを庁舎内で取り入れ、町長自ら率先して挨拶し、町政運営すべきでは、また、公務時間外なら町民に暴言を吐き傷つけ、その方の人生を変えてもよいのか。

公務中でなければ職員は何をしてもよいのか。優秀な職員さんが沢山いる中、数名の失態で、役場全体をダメだと思われてしまう。どう思うか。

答 3つの⑥は徹底する。たった一人の職員の対応の悪さで、信頼関係が崩れ去ることも十分にある。全職員

の意識改革や意識統一が図られるよう、能力向上に努める。公用車は禁煙なのに、吸殻がたくさん入っており臭い。どう説明するのか。

答 プリウスのタバコの吸殻については、分からない。公用車内の禁煙は徹底している。禁煙協力を求める。

問 飯能、寄居バイパス周辺自治体における危険箇所への対応は。山吹保育園付近の危険を、町はどのように考えているのか。

答 危険箇所は、3カ所把握している。(昭光物産前、越生大橋交差点、山吹保育園交差点)。各、関係各課へ今後も引き続き要望する。注意喚起の看板設置も行う。

要望 バイパス周辺の危険に各所へ何度も訴え、安全確保に努めて欲しい。また、優秀な職員さんを汚さないよう、意識の統一のための教育の強化。民から官への苦情解決システムの設立も合わせ、町民



飯能寄居線バイパス(山吹保育園前)

サービスの向上を、また、挨拶されたらする、のではなく、町長自ら率先して挨拶を。

区運営補助金について、中学校の体育祭に高齢者の招待を

浅野 訓正



問 (1)現在の区への補助金の交付は、いつから、どのように決められたのか。(2)区長にも費用弁償の支給を。

答 (1)平成18年度から改正され均等割13万2千円、世帯数割600円に広報配布世帯数を乗じた金額と集会所等維持管理補助金(集会所に

つき5万円を限度)を統合したものを交付している。(2)区長の費用弁償は、現在支給している運営費のなかで対応して欲しい。町と区のパイプ役の重責を担っていたらいいが、支給は考えていない。

要望 区運営費の補助と区長に対する費用弁償とは違

うので、多少なりとも支給を考慮すべき。



黒岩区公会堂

問 都幾川中学校では、20年以上前から体育祭に高齢者を招待している。「子供は国の宝」と言われるが、少子高齢化の時代であり、成長期の中学生を高齢者と親が一

緒に見守ることは、核家族化に移行している現在には、なかなかない。みんなで見守っている姿に気づいて欲しい。越生中学校でも来年で降そのようなことは考えられないか。来賓として、たかとりクラブ連合会長様あてに招待の案内をした。小学校で

答 クラブ連合会長様あてに



は、敬老席を表示して設けているが、中学校ではない。来年度から必要であるか、また可能であるかどうかを中学校に検討するよう指示する。

お昼のサイレンはチャイムで復活を

宮崎さよ子



問 お昼のサイレンは、なぜ鳴らなくなったのか。

答 本来、火災出動、消防団召集のためのサイレン吹鳴装置の試験放送だったが、老朽化により故障したため防災行政無線の放送に変更した。夕方の「七つの子」の放送が防災行政無線の試験放送にな

るので昼のサイレンはやめた。

問 それでは、お昼のサイレンは、町民にお昼を知らせるのが目的でなく、「試験吹鳴」だと言うことをどのように周知していたのか。

答 何十年の間、周知はしていませんでした。

問

農作業や商店の方、主婦、お年寄り等多くの町民の声を聴いたところ皆が「お昼のサイレンは日常生活に必要なので鳴らしてほしい」と言っています。試験放送は一日一回でなくお昼と夕方の二回にすれば、安全性がより保たれて良いのではないかと。防災行政無線でお昼のチャイムを鳴らすことはできないか。

答

チャイムを鳴らすことはできませんが、再開するには区長会や広報おごせを通して、住民の意見を伺って検

討したい。一度中止したサイレン吹鳴を再開することは、なかなか難しい。

問

町は町民の声を聴かずにお昼のサイレンを一方的にやめておいて、復活させるには町民に確認をしてからだなんで、全く矛盾していませんか。であるならば、サイレンをやめる前に、もつと町民の声を聴くべきではなかったのではないのでしょうか。これが、町長の言う協働のまちづくりと言えるのでしょうか。

答

再開するには根拠となる住民の要望や理解が必要である。したがって2、3カ月かかる。



農作業中

高齢者を守る制度・支援は

宮島サイ子



知に努めるとともに、個別の相談支援など、様々な機会を通して制度への理解を高めていく考えだ。

認知症支援は

①越生町の認知症と家族をサポートする事業は、訪問介護にはない見守り等軽度のサービスの取り組みは、平成21年度から「認知症サポーター養成講座」を開催、要援護者等見守り支援ネットワークを発足し、必

要なサービスを組み合わせる対応している。

買い物弱者支援は

①高齢者の食料品アクセス状況に関する現状は、②今後、高齢化とともに買い物弱者が増えてくる。越生町としても今後の支援策を考

るべきでは。

③高齢者の買い物における交通手段は、徒歩、自動車等が現状である。要介護認定で非該当の方は、社協の「地域支え合いサービス事業」

の対応が可能である。

問 障害者の社会参加の促進につれ成年後見制度の活用が重要であると思うが、越生町の取り組みの現状と今後の課題は。②老人福祉法第32条の2が新設され、市町村は後見

人の育成とともに、それを活用するために必要な措置をとることが規定されている。越生町でも町民による後見人の育成を図るべきと考える。成年後見人の育成の普及について見解を伺う。

答 制度の研修会の開催や広報紙などを活用した周

この10年で所得は約35万円減 子育て支援を強化すべきだ

神辺 光治



子育てにお金がかかるのに16歳未満の子供は切り捨てられ怒りでいっぱい。(自営業48歳)というもので、①ここ10年の給与所得の推移は。②投書は事実か。③町長の感想。④所得は減り増税。この後、消費税大増税。子どもは「次世代を担う社会の宝」。子育て支援を強化すべきだ。⑤学校給食費3人目は無料とか、就学援助基準を見直しを。

答 ①この10年で34万7357円減少。②ほぼそのとおり。③税法改正は国会なので見守る。④第3子の保育料無料、保育料上昇の抑制。18歳まで医療費無料等を拡大。⑤学校給食費の就学援助は、現在82名119.1%。生活保護認定者は12名。準要保護の所得での認定基準は、生活保護の1.3倍未満が上限。保護者の申請71件中要件を満たした70人を認定。この1.3倍は近隣市町と同等で支給内容もほぼ同じ。拡大は考えて

問 第2おごせ福祉作業所の建設費で法人の自己負担分に町の応分な補助を。支援をしたいが厳しい財政状況で支援は難しい。

答 財政状況で支援は難しい。

問 しんぶん赤旗に「子育て中でも住民税が20倍の投書です。内容は、夫の住民税が、去年の4千5百円が8万5千円と20倍近くに！我が家は、12歳と10歳の子ども2人の4人家族。市役所の説明は、16歳未満の扶養控除が今年から廃止で、去年に比べ

66万円あった控除額が0に(子ども一人33万円)で2人で66万円)私の配偶者特別控除は、去年の33万円が26万円に減額。合わせて73万円の控除減額に！また、今年から子ども手当が児童手当に、月6000円減。これで、消費税が上がったら、生活がますます苦しくなる。

生活がますます苦しくなる。



福祉作業所

買い物弱者とは
高齢者・子育て中している親
日常生活に困難
土曜日に車やバスを借りたりするなどの支援
大部分 高齢者
全国 600万人

長野県北部地震で震災にあった栄村 伊那市へ議会基本条例の視察研修

去る10月1日～2日に視察研修で長野県栄村と、伊那市を訪問した。



長野県下水内郡栄村役場

栄村は3・11東日本大震災の翌日、震度6強の地震に襲われ甚大な被害を受けながらも、地元消防団と下駄履きヘルパーと呼ばれる地域に密着した組織が機能して、死者は少なく、けが人も少なかった。山間地帯で人口減少と、高齢化の問題を抱え、当町と共通する点も多く、防災への取



長野県伊那市役所

り組みや課題等を意見交換し、復旧復興の状況を視察した。伊那市は今年3月議会で議会基本条例を制定した。昔から自治意識が高く、議会活性化の先進地として、議会が市民と対話するなど開かれた議会活動を実践している。条例制定の経過や課題を聞き、問題点など質問し、我々の議会活性化に向けた手本のひとつとして研修をしてきた。

埼玉町村議会 議員研修会に参加

平成24年10月12日(金)

吉見町民会館「フレサよしみ」を会場に埼玉町村議会議長を主催による、議員研修会が開催されました。

研修のテーマは、「大震災と原発事故から1年半―被災地・福島は今」。福島の現状と被災者や地域社会への影響、そして、政治の役割について、福島民報社編集局報道部長、早川正也氏による講演が行われました。改めて被災地へ思いを寄せる日となりました。



8月臨時会の傍聴者数

本会議	傍聴人数
8月 2日(火)	0
合計	0

9月定例会の傍聴者数

本会議	傍聴人数
12月5日(水)	0
6日(木)	8
7日(金)	50
10日(月)	4
21日(金)	0
合計	62

議会を傍聴してみませんか

町議会には、年4回(3月、6月、9月、12月)開かれる「定例会」と、必要があるときに開かれる「臨時会」があります。そして、どちらも一般公開され傍聴することができます。

あなたが選んだ議会議員が、議会でのような活動をしているのか直接見たり、聞いたりすることができ、町の動きを直接知ることができます。どうぞお気軽に議場を訪れ、議会を傍聴してみたいいかがでしょうか。

編集後記

今年は猛暑による被害や豪雨などの自然災害が多い年でした。災害に遭われた方に心よりお見舞いを申し上げます。地震に限らず自然災害は備えあれば憂いなし。防災対策の必要性は増すばかりです。

そうした中で行われた長野県北部地震の震災地栄村への視察、福島現地から現状報告を受けた議員研修。共に災害対策における議員の役割の重大さを痛感しました。町の防災体制作りにはぜひとも活かしていきたいものです。

8月臨時議会では議長選挙が行われ新体制がスタート。折しも水道事業の危機に見られるように町政のチェックが鋭く問われています。町民と共に歩む議会めざしがんばりますので、ご意見等ありましたらよろしく願います。

- | | |
|-----|-------|
| 委員長 | 吉澤 哲夫 |
| 委員 | 新井 康之 |
| 委員 | 浅野 訓正 |
| 委員 | 宮崎さよ子 |
| 委員 | 宮島サイ子 |
| 委員 | 木村 正美 |
| 委員 | 水澤 努 |